

15-62 思惑取引の手段としての貨幣資本

「素材的富の増大につれて、貨幣資本家の階級は大きくなる。一方では、引退した資本家、金利生活者の数と富とが増大する。そして第二には、信用制度の発達が進められて、したがって銀行業者や貨幣貸付業者や金融業者などの数がふえる。——自由に利用できる貨幣資本の発展につれて、利子付証券、国債証券、株式などの量が増大することは前に述べたとおりである。しかし、それと同時に、自由に利用できる貨幣資本にたいする需要もふえてくる。なぜならば、これらの証券を思惑取引する証券仲買業者が貨幣市場で主役を演ずるようになるからである。」（大月版『資本論』⑤ P646F1-650F6）